

テクニカルデータシート TI-A11

セーフティキャッチャー KRシリーズ (DGUV認証品)

プレッシャーバージョン

セーフティキャッチャーの概要に関しては、「テクニカルインフォメーション TI-A10」をご覧ください。
本製品の取り付けなどに関する情報は、「オペレーティングマニュアル BA-A11」をご覧ください。

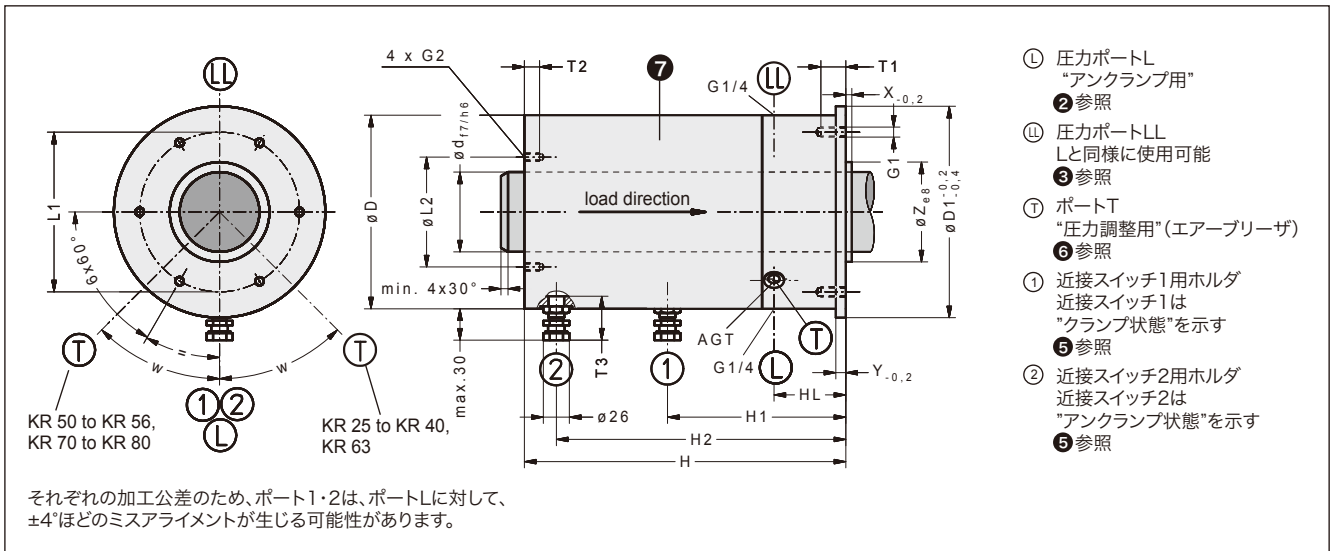


図1: セーフティキャッチャーKR 概要図

Type	ID no.	d	M	D	D1	H	Y	Z	X	L1	G1	T1	L2	G2	T2	T3	V	AGT	HL	H1	H2	w	Wt.
	(order no.)	mm	kN	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	cm ³	mm	mm	mm	mm	mm	kg
KR 25	KR 025 30	25	10	71	81	152	5	40	3	56	M6	15	64	M5	12	32	3	G1/8	48	84	130	45°	4
KR 28	KR 028 30	28	15	82	92	169	5	45	3	65	M8	15	73	M5	12	32	4	G1/8	50	88	145	45°	6
KR 40	KR 040 30	40	33	106	123	211	8	52	3	80	M8	20	56	M6	12	34	5	G1/4	62	167	125	45°	13
KR 50	KR 050 30	50	52	125	142	264	8	65	3	110	M10	25	66	M6	12	45	10	G1/4	64	119	160	30°	20
KR 56	KR 056 30	56	67	140	156	262	8	70	3	115	M10	25	75	M6	12	45	11	G1/4	72	122	166	30°	24
KR 63	KR 063 30	63	100	160	177	285	10	80	5	140	M10	25	85	M6	13	45	12	G1/4	66	125	164	30°	35
KR 70	KR 070 30	70	107	172	188	302	10	90	3	140	M10	25	100	M8	16	45	15	G1/4	73	129.5	166	30°	43
KR 80	KR 080 30	80	133	194	212	322	10	100	3	160	M10	25	110	M8	16	45	16	G1/4	72	128	176	30°	57

表記された数値は、予告なく変更する場合があります。

- ① Mは、セーフティキャッチャーの許容負荷を表します。取り付けられる軸の表面がドライ、もしくは油圧作動油が付着している場合、保持力(制動力)は $2 \times M$ を下回ることなく、 $3.5 \times M$ を超えることはありません。
- ② アンクランプ状態を維持するために必要な圧力は、40barです。スプリングベース(テクニカルデータシートTI-A21参照)を導入した場合、アンクランプするために必要な圧力は、60barです(テクニカルデータシートTI-A20参照)。許容作動圧力は、250barです。
- ③ 圧力ポートLLは、通常はプラグスクリューにより閉鎖されています。圧力ポートLに配管を繋ぐのが困難な場合には、その代わりに圧力ポートLLを使用することができます。また、ポートLL(もしくはL)に、オートブリーダを導入することをお勧めします(オートブリーダについては、テクニカルインフォメーションTI-Z10をご覧ください)。
- ④ 作動油内部容積
- ⑤ 近接スイッチホルダは、スタンダードな近接スイッチ(M12×1 検知距離2mm 埋め込み型 出力:NOC / KR25およびKR28をご使用になる場合 M8×1 検知距離1.5mm 埋め込み型 出力:NOC)をご使用になれます。

- 表のT3は、近接スイッチホルダ上面から計測位置までの深さを示します。近接スイッチホルダは、工場出荷時に予めT3の値になるよう取り付けられています。近接スイッチを取り付ける際は、近接スイッチホルダ内部のストッパに当たる位置で固定すれば、そのまま使用することができます。近接スイッチは付属されていませんが、オプションのアクセサリとして、本体と共にご購入いただくことができます。
- ⑥ クランプ・アンクランプ作動時に生じる、ユニット内部のエアの増減は、ポートTを通して補正されます。ポートTにはフィルタープラグ(金色の六角ボルトのようなもの)が装着されており、ダスト等がポートTから製品内部へ入らない様に保護しています。もし、ポートTから湿気や侵食性のある流体が発生した場合は、フィルタープラグの代わりに空気環境の良いエリアまで配管してください。
- ⑦ ハウジングは黒色のプライマ処理、前端面は、防錆ワックス処理されています。

テクニカルデータシート TI-A11

セーフティキャッチャー Kシリーズ (DGUV認証品)

プレッシャーバージョン

セーフティキャッチャーの概要に関しては、「テクニカルインフォメーション TI-A10」をご覧ください。
本製品の取り付けなどに関する情報は、「オペレーティングマニュアル BA-A11」をご覧ください。

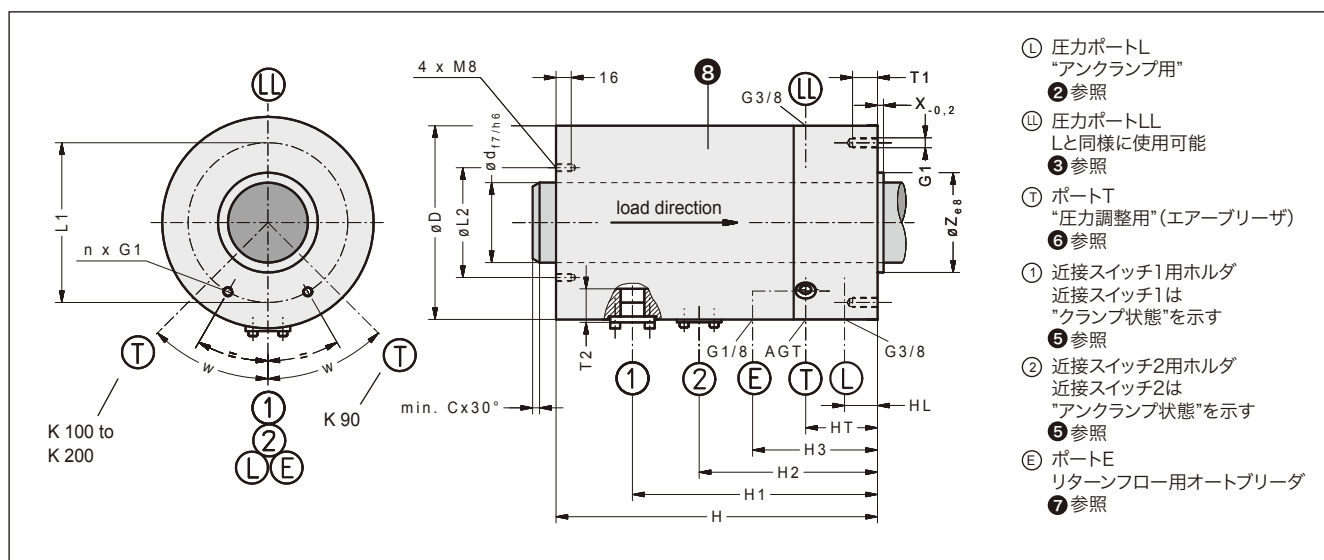


図2: セーフティキャッチャーK 概要図

- ① 圧力ポートL
"アンクランプ用"
② 参照
- ④ 圧力ポートLL
Lと同様に使用可能
③ 参照
- ① ポートT
"圧力調整用" (エアブリーザ)
⑥ 参照
- ① 近接スイッチ1用ホルダ
近接スイッチ1は
"クランプ状態"を示す
⑤ 参照
- ② 近接スイッチ2用ホルダ
近接スイッチ2は
"アンクランプ状態"を示す
⑤ 参照
- ⑦ ポートE
リターンフロー用オートブリーダ
⑦ 参照

Type	ID no.	d	C	M	D	H	Z	X	L1	n	G1	T1	L2	T2	V	AGT	HL	HT	H1	H2	H3	w	Wt.
	(order no.)	mm	mm	kN	mm	mm	mm	mm	mm		mm	mm	mm	mm	cm ³	mm	mm	mm	mm	mm	mm	°	kg
K 90	K 090 30	90	5	160	218	284	110	3	170	6	M12	25	125	35	18	G1/8	20	47	188	138	105	30°	63
K 100	K 100 30	100	5	220	240	310	120	3	160	6	M12	25	135	34	18	G1/4	22	28	230	180	105	40°	83
K 110	K 110 30	110	5	270	240	335	130	4	200	4	M16	30	148	34	24	G1/4	24	38	192	142	105	57.5°	90
K 125	K 125 30	125	5	330	270	356	150	4	220	4	M16	30	160	37	24	G1/4	22	33	208	158	100	55°	118
K 140	K 140 30	140	5	450	320	390	170	5	250	4	M16	30	180	35	24	G1/4	22	35	233	183	102	30°	184
K 160	K 160 30	160	5	700	360	505	190	5	300	4	M16	30	210	52	36	G1/4	25	37	138	88	102	60°	302
K 180	K 180 30	180	5	750	410	460	220	6	330	4	M20	40	226	65	36	G1/4	19	52	335	285	111	19°	360
K 200	K 200 30	200	7	850	448	533	240	6	340	8	M20	40	252	67	36	G1/4	19	40	334	279	111	33°	500

表記された数値は、予告なく変更する場合があります

- ① Mは、セーフティキャッチャーの許容負荷を表します。取り付けられる軸の表面がドライ、もしくは油圧作動油が付着している場合、保持力(制動力)は2×Mを下回ることなく、3.5×Mを超えることはありません。
- ② アンクランプ状態を維持するために必要な圧力は、40barです。スプリングベース(テクニカルデータシートTI-A21参照)を導入した場合、アンクランプするために必要な圧力は、60barです(テクニカルデータシートTI-A20)。許容作動圧力は、250barです。
- ③ 圧力ポートLLは、通常はプラグスクリューにより閉栓されています。圧力ポートLに配管を繋ぐのが困難な場合には、その代わりに圧力ポートLLを使用することができます。
- ④ 作動油内部容積
- ⑤ 近接スイッチホルダは、スタンダードな近接スイッチ(M12×1 検知距離2mm 埋め込み型 出力:NOC)をご使用になれます。表のT2は、近接スイッチホルダ上面から、計測位置までの深さを示します。近接スイッチは付属されていませんが、オプションのアクセサリとして、本体と一緒にご購入いただくことができます。

- ⑥ クランプ・アンクランプ作動時に生じる、ユニット内部のエア圧の増減は、ポートTを通して調整されます。ポートTにはフィルタープラグ(金色の六角ボルトのようなもの)が装着されており、ダスト等がポートTから製品内部へ入らない様に保護しています。もし、ポートTから湿気や侵食性のある流体が発生した場合は、フィルタープラグの代わりに空気環境の良いエリアまで配管してください。
- ⑦ 油圧回路のエア抜きのために、ポートEにはオートブリーダが内蔵されています。少量のオイルが混ざったエアがポートEから流出しますので、無加圧なドレインタンクなどに排出してください。(より詳細な情報に関しては、テクニカルインフォメーションTI-Z10をご覧ください。)
- ⑧ ハウジングは黒色のプライマ処理、前端面は、防錆ワックス処理されています。